

『巨大水害が突きつけた課題となすべきことを考える』

2019.3.8 Fri. 13:30 ▶ 17:20

@名古屋工業大学 2号館1階 0211 教室 開場 13:00 参加費：無料（事前申込制）

■主催：国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学センター

■共催：東海圏減災研究コンソーシアム ■後援：国土交通省中部地方整備局

主旨

2018年7月の西日本豪雨災害など、毎年のように巨大水害が発生しています。本シンポジウムでは、この国難をもたらす甚大化する水害について理解を深め、河川管理者・技術者・研究者がどのような課題に直面しているかを認識し、今後、管理・研究・技術開発などについて何をどのように考えていけばいいのかを議論します。

プログラム

★ 13:30 - 13:35 開会挨拶：木下 隆利（名古屋工業大学理事）

★ 13:35 - 14:45 【特別講演】「平成30年7月西日本豪雨による岡山県の河川災害の状況と課題」

・前野詩朗 岡山大学教授（河川工学）

<休憩>

★ 15:00 - 16:30 話題提供：豪雨災害の教訓・教訓はいかされたか

1) 「中部の低平地での河川災害の課題」

富永 晃宏 名古屋工業大学教授（河川工学）

2) 「河川堤防の安全性と強化における地盤工学からみた課題の掘り下げ」

岡村 未対 愛媛大学教授（地盤工学）

3) 「広域避難とその課題」

秀島 栄三 名古屋工業大学教授（都市計画）

★ 16:30 - 17:15 パネルディスカッション：

『巨大水害が突きつけた課題となすべきことを考える』

コーディネーター：前田 健一（名古屋工業大学）

★ 17:15 - 17:20 閉会挨拶：前田 健一（高度防災工学センター副センター長）

アクセス

名古屋工業大学まで

★ JR 東海／中央本線 鶴舞駅下車（名大病院口から東へ約400m）

★ 地下鉄／鶴舞線 鶴舞駅下車（4番出口から東へ約500m）

or 桜通線 吹上駅下車（5番出口から西へ約900m）

★ 市バス／「栄18」名大病院下車（東へ約200m）

or 「昭和巡回」名大病院下車（東へ約200m）

※ 「栄18」「昭和巡回」は市バスの系統名です

会場

2号館1階 0211 教室



名古屋工業大学2号館
正門を入れて正面の建物です



【申込方法】 参加申し込みは、<http://adpec.web.nitech.ac.jp>

または右記 QR コードから

【申込期間】 2019年3月1日（金）まで

【その他】 大学構内への車両乗り入れは出来ません。公共交通機関での来場をお願いします。

本シンポジウムはCPD 認定講習です（認定番号 JSCE18-1431）。登録は個人でお願いします。

